

横浜市スクエアダンス連絡協議会について（報告）

発足：平成23年4月1日。

組織、役員：会長 上野氏。総務 内山氏。会計 平林氏。企画 加藤氏。加盟団体15団体（県連加盟団体：16団体）から理事各1名。他顧問1名、相談役安藤氏

発足までの経緯：SD活動をする中で、昨今活動拠点を定常的に確保することが困難となり、特にパーティー会場を廉価でと考えると公共施設しかなく、これらを単独のクラブで利用することは不可能に近い。

横浜市の各区には体育協会が運営管理するスポーツセンターの他、文化体育館、平沼体育館等があるがこれらを利用するには体協傘下の団体にならない。これには横浜市で活動する各クラブが1つの団体となり規約、予算案、活動計画を練り上げ加盟申請をすることが必要であり、予てよりS協上層部からも横浜市として纏める様にとの意向を示されていた。

平成22年秋ごろからこの気運が関係団体の中に醸成され、元県連会長安藤氏のアドバイスを受けつつ規約づくりに入り、

平成23年1月に、設立発起人上野氏のもと準備会を開催、横浜市内で活動する（17団体现在は16団体）の賛同を得て同年4月横浜市連はスタートした。

事前の調査で市体協への入会金は入会金が25万円と高額なこと、入会条件のハードルが高いと予想され（競技団体ではないこと）横浜市レクリエーション協会に加入することとした。

平成23年5月に市レク協に必要書類を添付し加盟申請を行い、3-4ヶ月で承認されると目論んでいたところ、市レク協が、平成23年度で廃止されるとの情報があり（当時は他に影響があるので内々の扱い）勢い込んでいた会長ほか当事者は少々慌ててしまった。

明けて平成24年2月既存、市レク協加盟団体の行き先が、市体育協会に決まるとの事で、それに便乗し‘横浜市スクエアダンス連絡協議会’も市レク協加盟イコール本年4月から横浜市体育協会加盟団体となった。

市体協への入会金は‘市レクリエーション連合’として加盟したので別途の支出は無い

企画 加藤正明

横浜市スクエアダンス連絡協議会会員名簿（順不同）

- 横浜スクエアダンス愛好会・戸塚リクリエーションサークルスクエアファン
- ヨコハマサニーコースト・スクエアナインズ・瀬谷ワンセットスクエアー
- ポルシェスクエアダンスサークル・ルーセントスクエアダンスクラブ
- スクエアドリーム・Opry もえぎ野SDC・ドリームファンタジア
- YOKOHAMA BAY BRIDGE SQUARES・泉アルカディアスクエアダンスクラブ
- フルハウススクエアダンスクラブ・ラウンドダンスヒール&トウ
- SDC ジョイハンズ